
2020年度 第2四半期
決算説明会

NTT
docomo

2020年10月29日

上期 決算概況

IFRS

(億円)	2019年度 上期 (1)	2020年度 上期 (2)	増減 (2) - (1)	増減率
営業収益	23,300	22,825	-475	-2.0%
営業利益	5,403	5,636	+233	+4.3%
当社株主に帰属する四半期利益	3,724	3,913	+189	+5.1%
フリー・キャッシュ・フロー	4,859	3,071	-1,788	-36.8%
設備投資	2,184	2,061	-124	-5.7%

◆ 本資料における連結財務数値等は会計監査人による監査前のもの。

◆ フリー・キャッシュ・フロー算定にあたっては、期間3ヶ月超の資金運用を目的とした金融商品の取得、償還及び売却による増減を除く。

セグメント別 実績

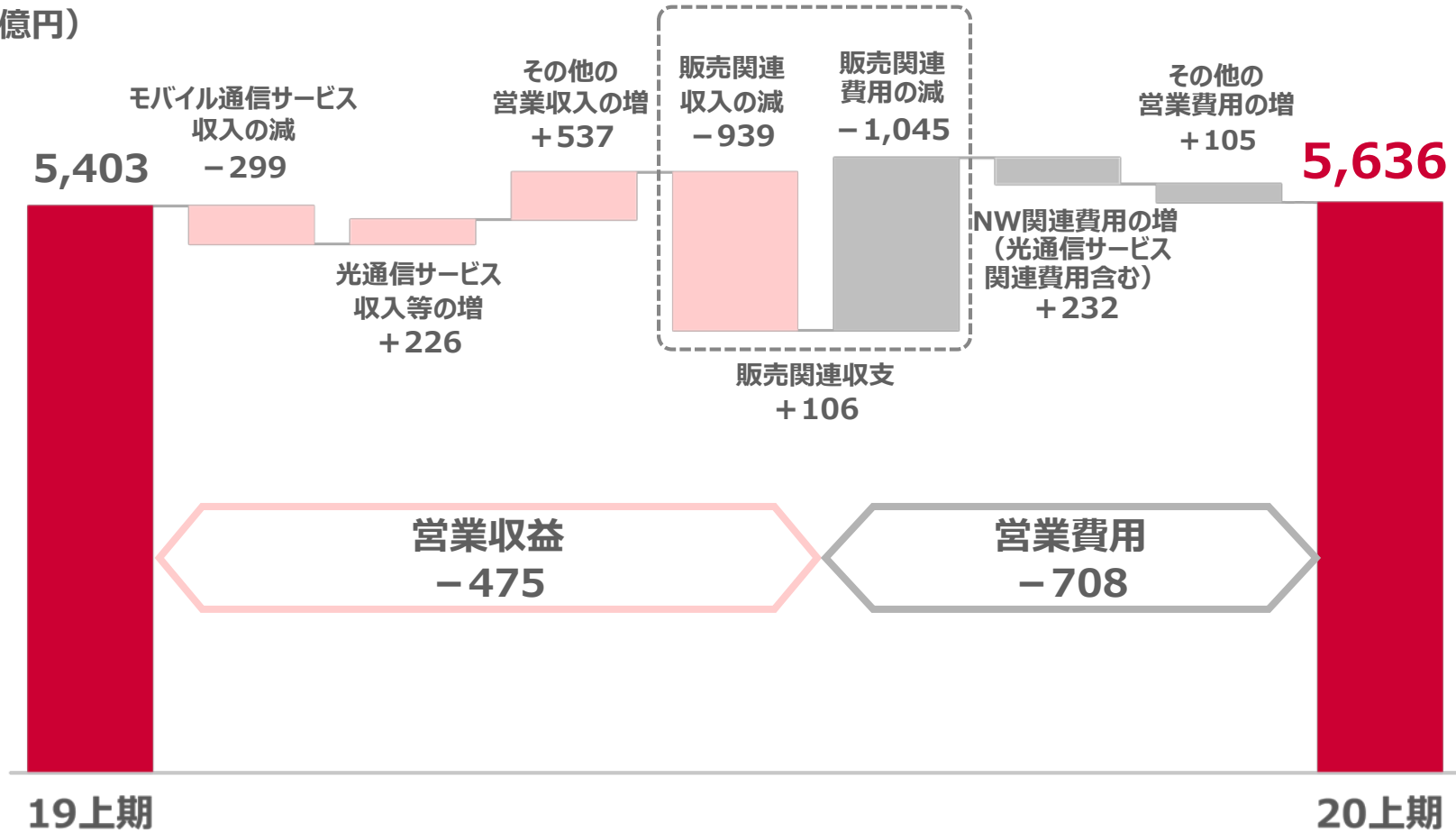
IFRS

(億円)		2019年度 上期 (1)	2020年度 上期 (2)	増減 (2) - (1)
通信事業	営業収益	18,711	17,625	-1,086
	営業利益	4,457	4,336	-121
スマートライフ 領域	営業収益	4,733	5,394	+661
	営業利益	945	1,300	+355
スマートライフ事業	営業収益	2,532	3,172	+640
	営業利益	347	618	+270
その他の事業	営業収益	2,201	2,222	+21
	営業利益	598	682	+84

営業利益の増減要因

IFRS

(億円)



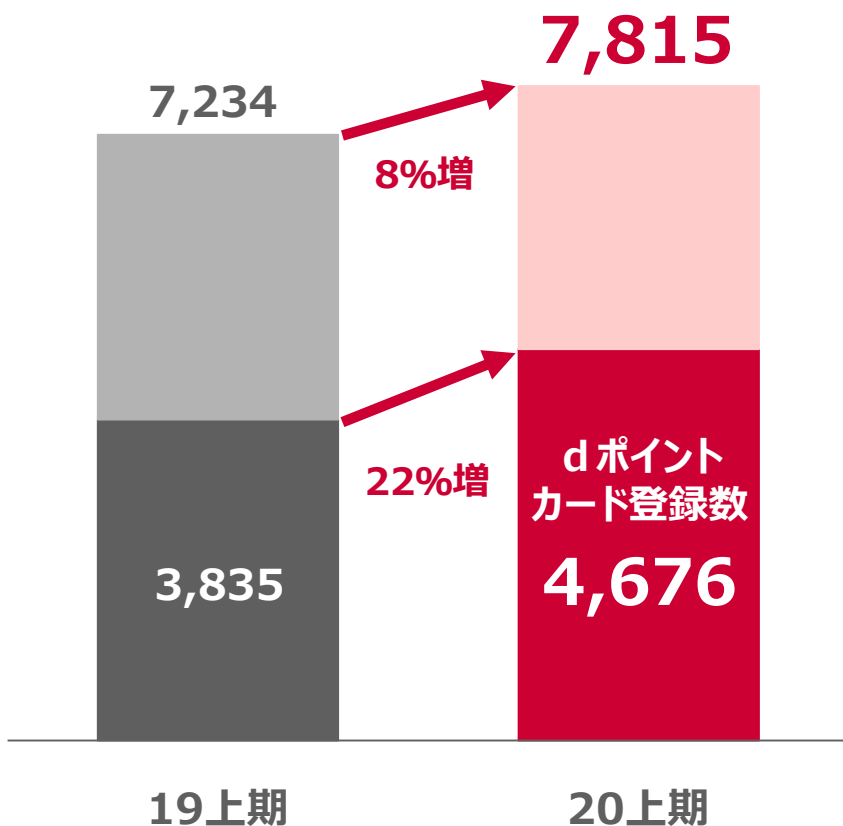
◆ 販売関連費用は端末機器原価、代理店手数料の合計。
◆ NW関連費用は減価償却費、固定資産除却費、通信設備使用料の合計。

dポイントクラブ

dポイントクラブ会員数

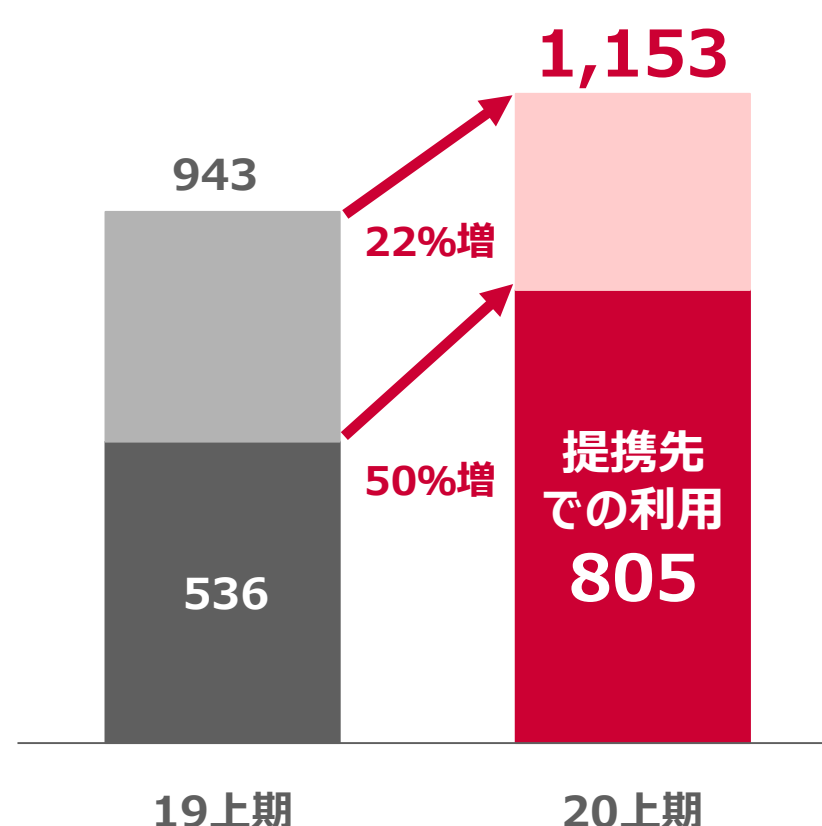
7,800万突破

(万)



dポイント利用

(億ポイント)

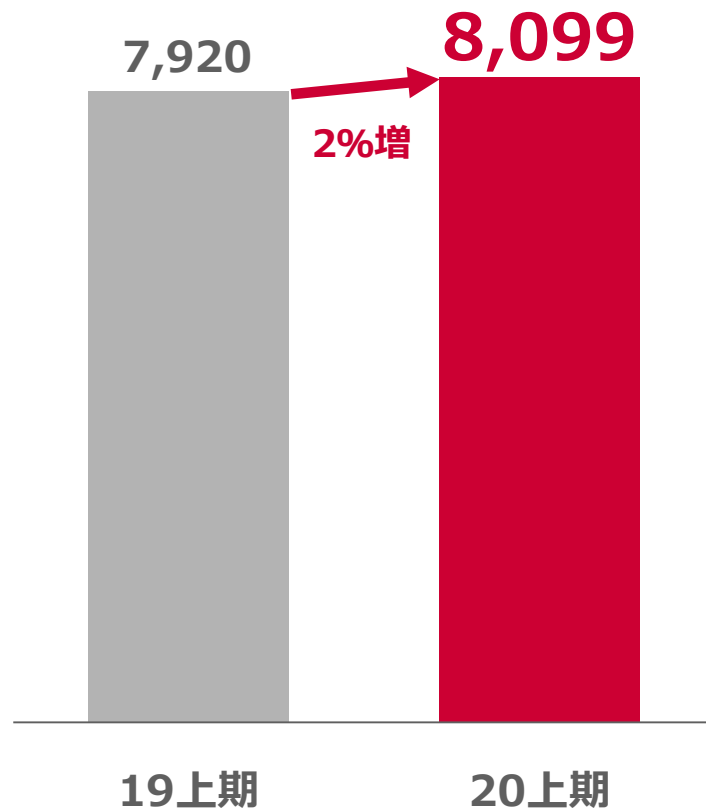


◆ dポイントカード登録数は利用者の情報を登録することで、提携先でdポイントを貯める・使うことができるお客さまの数。

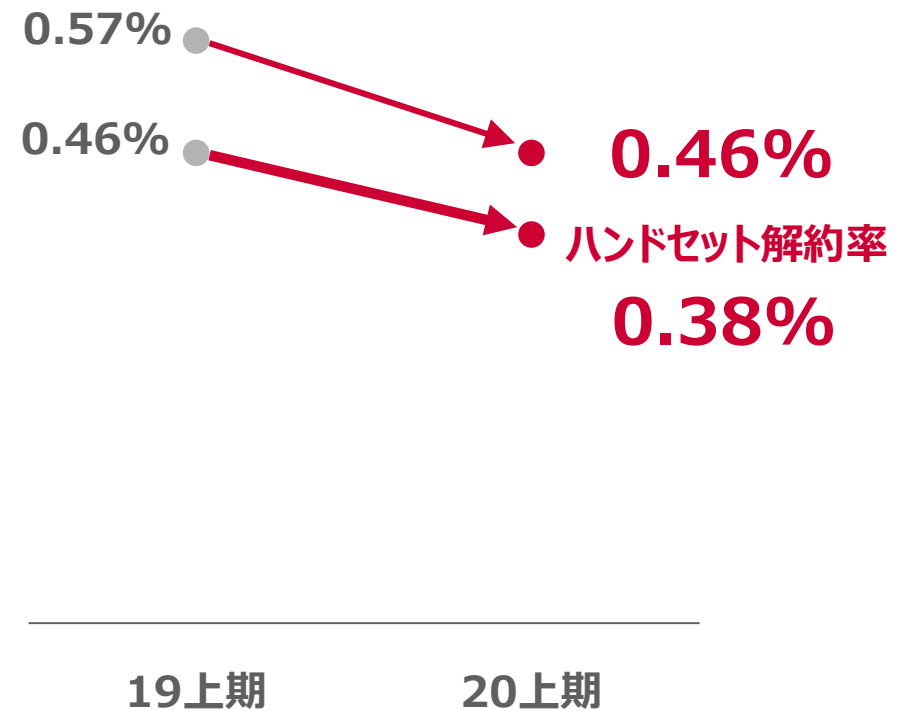
通信事業 オペレーション①

携帯電話契約数

(万契約)



解約率

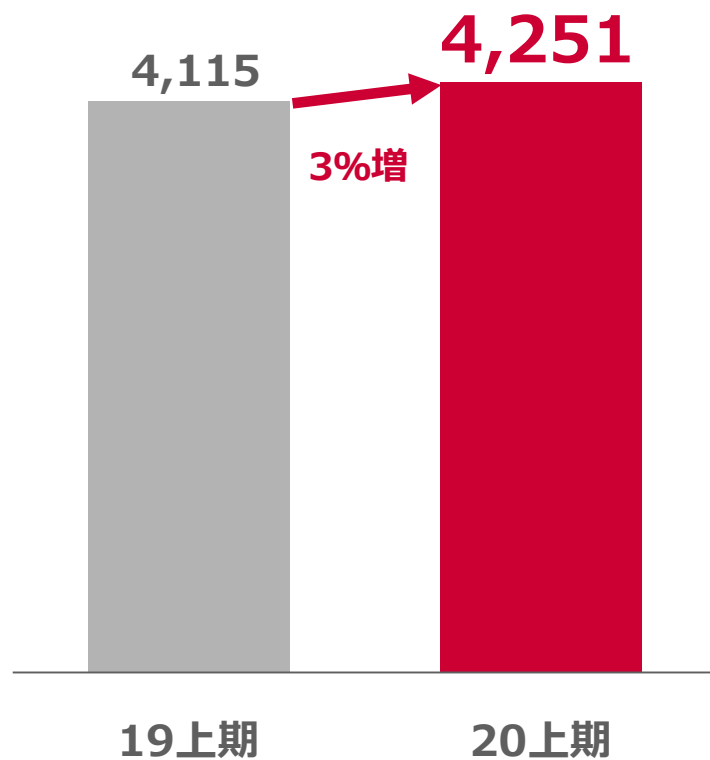


◆ ハンドセット解約率はスマートフォンとフィーチャーフォンの解約率。

通信事業 オペレーション②

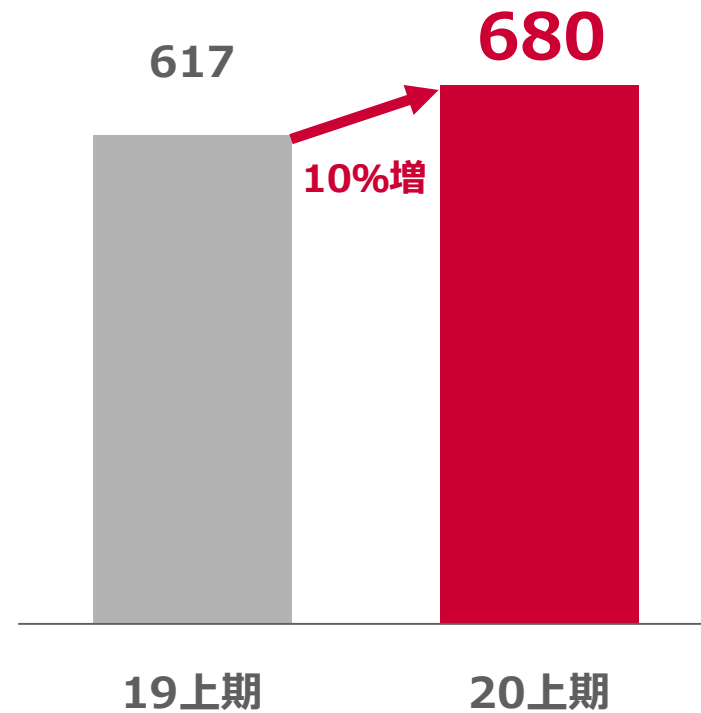
スマホ・タブ利用数

(万)

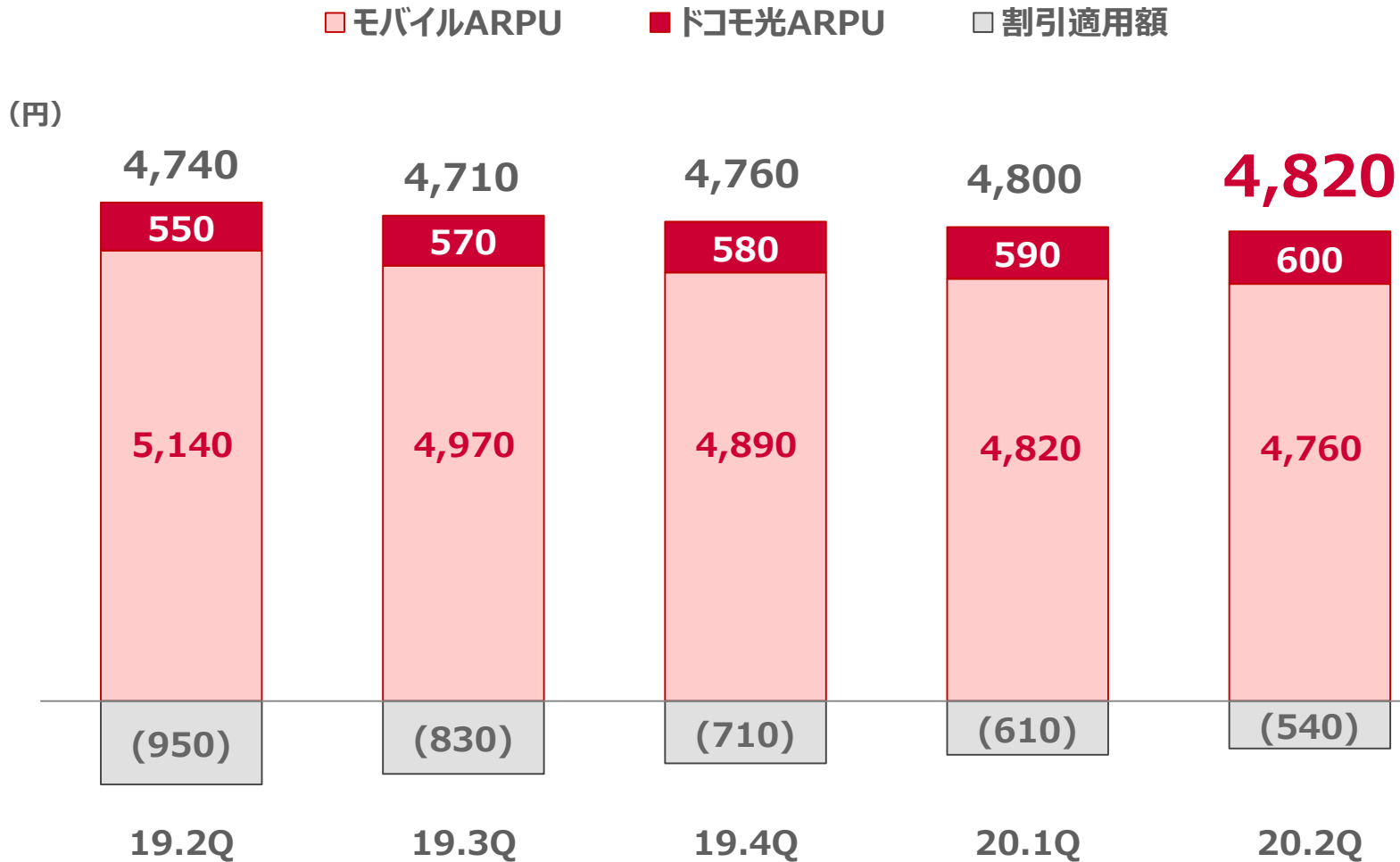


ドコモ光契約数

(万契約)



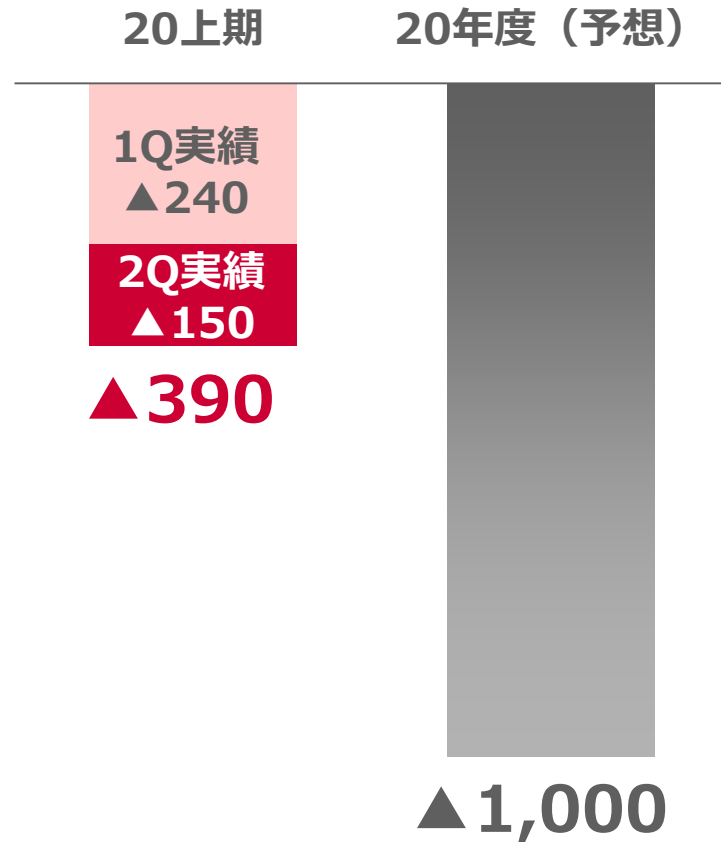
ARPU



- ◆ ARPUの定義については、Appendixを参照。
- ◆ モバイルARPU、ドコモ光ARPUは割引適用額除き。
- ◆ 割引適用額には月々サポート、docomo with、ドコモ光セット割が含まれる。

コスト効率化

(億円)

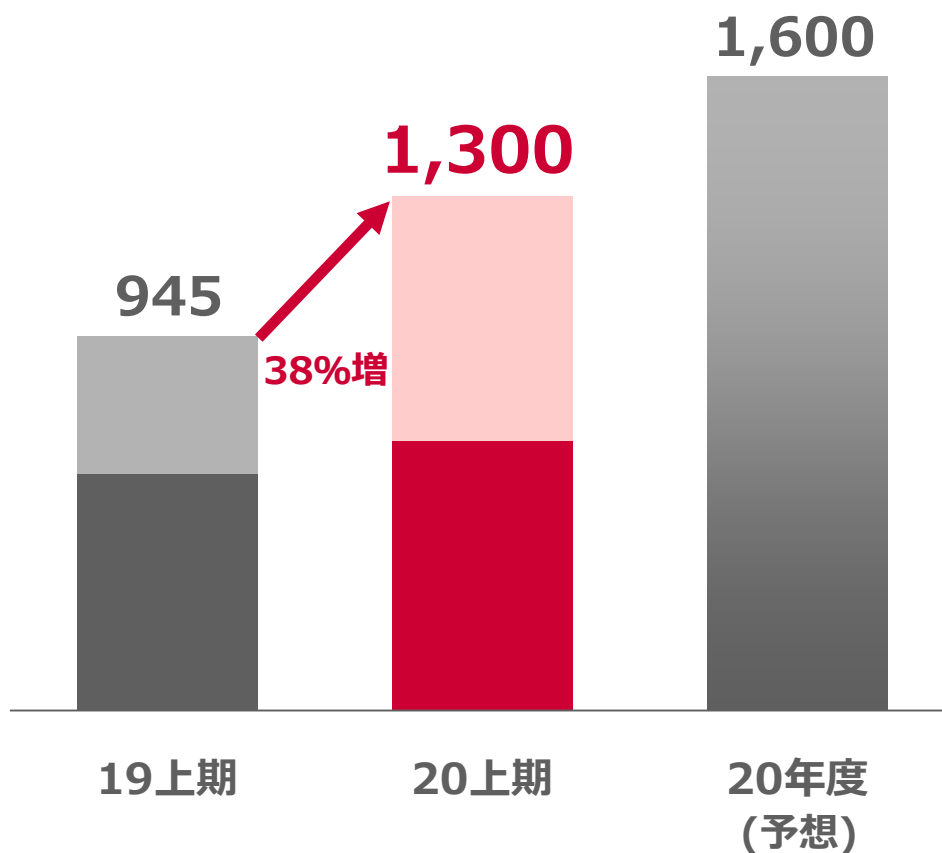


取り組み分野

- ◆マーケティング
DX推進、販売施策、アフターサポート 等
- ◆ネットワーク
装置集約、業務委託 等
- ◆その他
研究開発、情報システム 等

スマートライフ領域 営業利益

(億円)



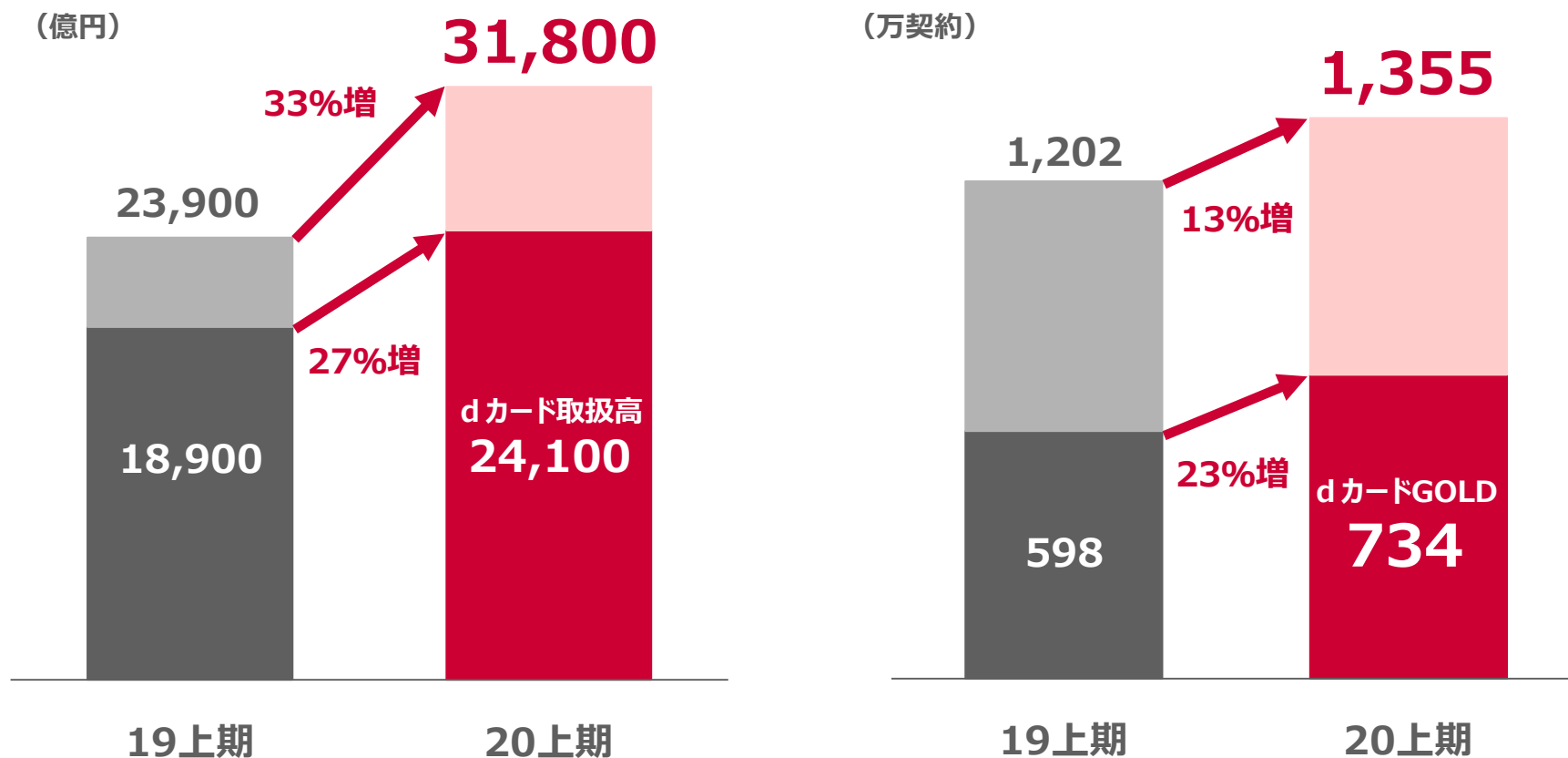
主なサービス

- スマートライフ事業
 - ▶ コンテンツ・ライフスタイル
 - ▶ 金融・決済
- その他の事業
 - ▶ あんしん系サポート
 - ▶ 法人ソリューション

金融・決済サービス①

金融・決済取扱高

dカード契約数



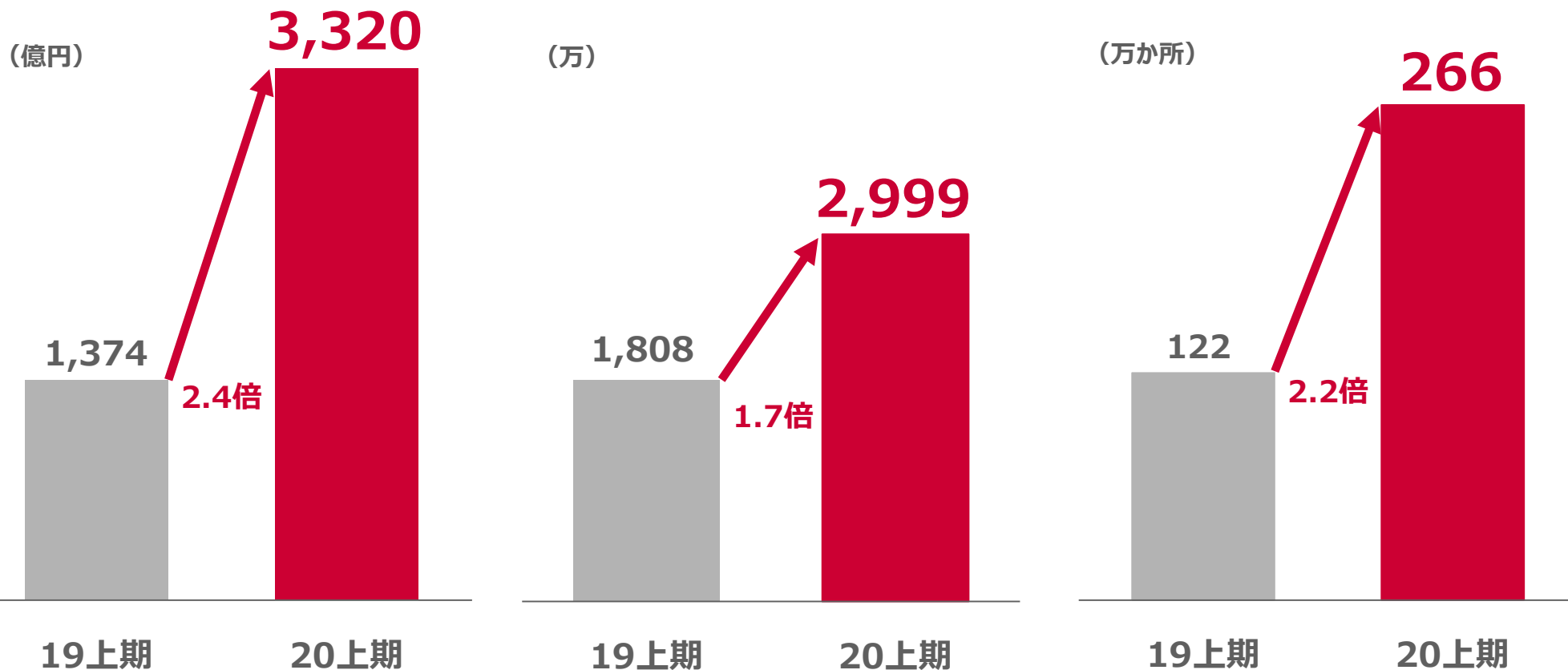
- ◆ 取扱高は2020年度第2四半期累計であり、dカード、iD、d払い、ダイレクトキャリアビリング、ドコモ払い等の取扱高の延べ金額。
- ◆ 2019年11月19日にdカードminiをd払いにサービスを統合したことに伴い、以下の修正を行っている。
 - ①dカード取扱高からdカードminiの取扱高を除き、d払いの取扱高として計上。
 - ②dカード契約数からdカードmini契約数を除く。

金融・決済サービス②

d払い取扱高

d払いユーザー数

決済・ポイント 利用可能箇所



- ◆ d払い取扱高は2020年度第2四半期累計であり、d払いコード決済及びネット決済、d払い(iD)決済の取扱高の合計。
- ◆ d払いユーザー数はd払いアプリダウンロード数とd払い(iD)会員数の合計。
- ◆ 決済・ポイント利用可能箇所はdポイント・iD・d払い決済（コード決済およびネット決済）利用可能箇所の合計。

+d パートナーの拡大

+d パートナー数 1.4倍に拡大



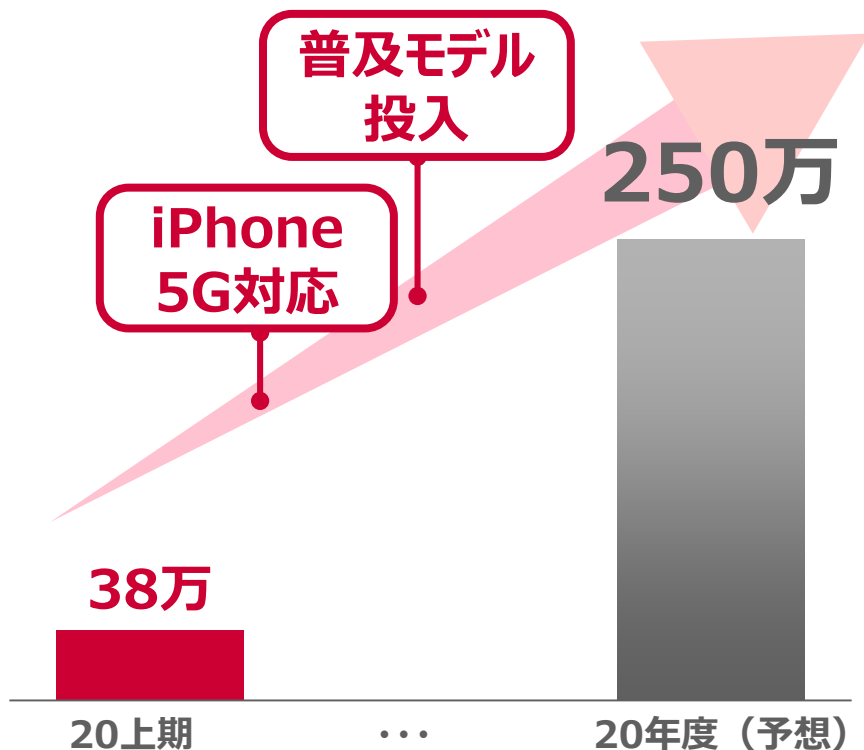
◆ +dパートナー数はドコモのビジネスアセットの強みをプラスすることで新たな価値を協創したパートナー数。

5G 契約者・エリア

年間目標に対し順調に進捗

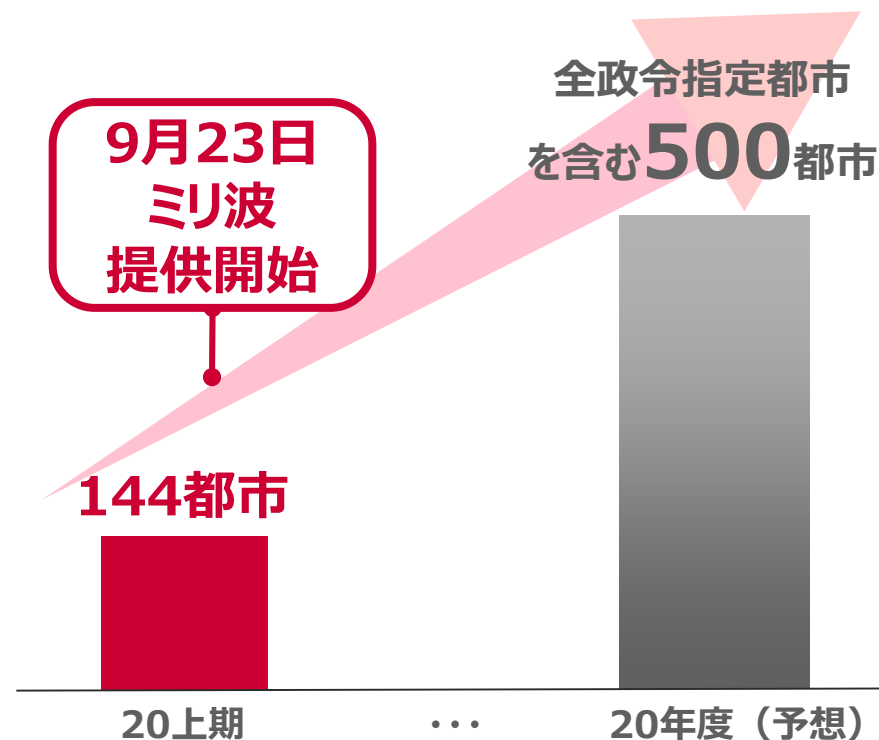
5G契約者

(契約)



5Gエリア

(都市)



サービスの展開領域を拡大

Jリーグで観戦支援サービスの提供

マルチアングル視聴 & スタッツ提供



鹿島アントラーズ
(9/27)

©KASHIMA ANTLERS

最新のデジタル技術によるエンタメ創出

MRを活用した新体感エンターテイメント



デジタル体験型商業施設
羽田出島
(9/19~)

「新体感ライブCONNECT」で配信

「TIG LIVE」に対応したライブ配信



柴咲コウ
(8/5)



東京ジョイポリス
(10/1~)

©TM & © TOHO CO., LTD.

新たに5ソリューションを提供開始

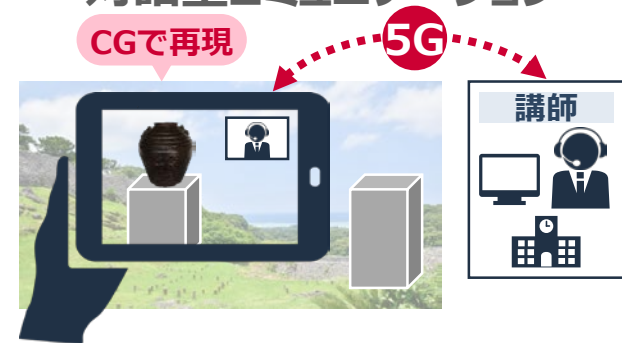
newme

アバターロボットによる
遠隔コミュニケーション



ARを用いた遠隔コミュニケーションシステム

ARで再現した高精細CG映像を活用した
対話型コミュニケーション



スマート街路灯

カメラ、サイネージによる
安心安全で活気ある街づくりに貢献



Fairyview

複数のカメラ映像を合成し
全体を俯瞰可能とするソリューション



Free View Point Tube

人の動きを自由視点で
視聴可能な次世代ストリーミング



リモート型社会へ向けた取組み

“GIGAスクール構想”の推進支援 導入自治体での利活用推進サポート

“GIGAスクール構想”の推進支援

全国の自治体への支援



熊本市への教育ICT活用サポート

タブレットの導入 計6.5万台のICT環境実現へ
(LTE通信、iPadおよび周辺機器、授業・学習支援ソフト提供)

利活用促進支援および運用サポート



コロナ休校時の
遠隔授業

Kumamoto Education
Week 2020共催



beyond宣言の取組み状況①

お客さまへの価値・感動

宣言 1

マーケット
リーダー

「U15はじめてスマホ割」
「ずっとはじめてスマホ割」「おしゃべり割」提供開始

安心して長く使い続けて頂ける料金サービスのさらなる充実（7月22日・8月5日 提供開始）

宣言 2

スタイル革新

「dアニメストア」でアニメ関連グッズを販売開始

アニメ作品の視聴と関連グッズの購入をシームレスに利用することが可能に
（9月1日提供開始）

宣言 3

安心快適
サポート

東京都の新型コロナ・テックパートナー企業に参画

「d払い」の利用履歴を活用した「店舗型東京版新型コロナ見守りサービス」で感染情報を通知
（9月1日提供開始）

beyond宣言の取組み状況②

パートナーとの価値・協創

宣言 4

産業創出

XRサービスの企画開発をする新会社 「株式会社複合現実製作所」を設立

XR技術とMRデバイスを活用したサービスで業務の高度化・効率化を実現
(8月4日設立)

宣言 5

ソリューション
協創

商用5Gを活用 国内初の遠隔手術支援の 事前評価実験を「東京女子医科大学」で開始

専門医が高精細の手術映像を見ながら遠隔で手術を支援 (10月21日開始)

宣言 6

パートナー
商流拡大

法人向け 共通認証ID「ビジネスdアカウント」を発表

ソリューションを活用しやすい仕組みによりDX・働き方改革を支援
(2021年4月 提供開始予定)

東日本大震災以降、1,000億円以上の投資を実施

大ゾーン基地局

(激甚災害に備えた非常用基地局)

全国106か所
(都道府県庁等)

- ・無停電化(エンジン)
- ・伝送路冗長化

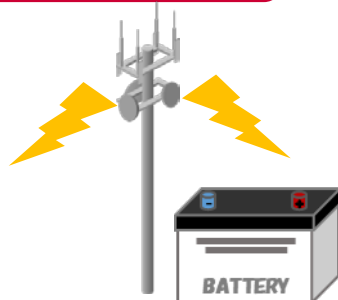


北海道胆振東部地震にて初運用

予備電源の強化

全国14,000か所
(主要公共機関、避難所等)

- ・停電時6時間以上運用可能



令和2年台風10号にて1,000か所をバッテリー運用

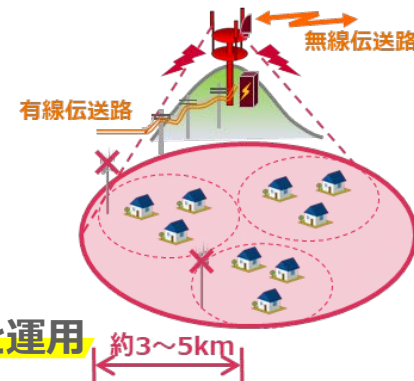
※6時間以上運用可能局以外も含む

中ゾーン基地局

(自然災害に備えた基地局)

全国2,000か所
(災害拠点病院、役場等)

- ・停電時24時間以上運用
- ・伝送路冗長化

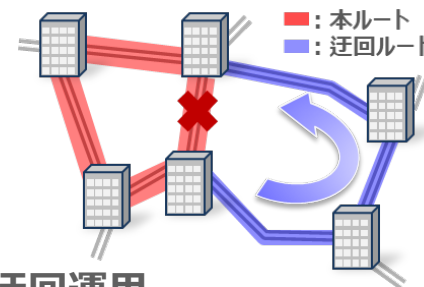


令和2年7月豪雨にて62局を運用

伝送路の多ルート化

全国1,200ビル

- ・伝送路の多ルート確保
- ・伝送路の自動迂回



令和2年7月豪雨にて自動迂回運用

令和2年7月豪雨、台風10号の対応 NTT docomo

通信影響を最小限に、被災者への支援を実施

広域支援体制の事前確立 (台風10号)

全国の災害対策機器・支援者を九州に集結



被災地域への支援措置 (7月豪雨、台風10号)

被災地の避難所、ドコモショップ等で
無料充電・Wi-Fiサービスの提供



- 避難所：延べ約50か所
- マルチチャージャ設置
- docomoWi-Fi設置
- 全国のドコモショップに蓄電池を配備

携帯電話や衛星電話等貸出の
自治体支援実施

- 貸出先：延べ60団体
- 端末数：延べ約1,000台

新型コロナウイルスに伴う対応①

安心してご利用いただくための取組み

U25向け支援措置

25歳以下の「1GB追加オプション」および「スピードモード」を50GBまで無償化
(2020年4月1日～8月末迄)

のべ**130万人以上**がご利用
平均5GB/月
を無償化

「遠隔型」のスマホ・ケータイ安全教室

タブレット等を活用し、講師と学校をWeb会議アプリで接続する「遠隔型」安全教室
(2020年4月16日～)

約140回開催、**約1.8万名**受講



新型コロナウイルスに伴う対応②

以下の取組みについても継続中

Web手続き・来店予約の推進	3密を避けるため、Web手続きや来店予約でのご来店を推進
ご来店時における感染拡大防止のための取組み	座席間隔をあけたお客さま対応、店舗スタッフのマスク着用義務、対面接客用フェンスの配備、スタッフが着用するゴーグルの配備等
ドコモスマホ教室オンライン版提供	スマホの使い方や楽しみ方を動画で学べるドコモスマホ教室のオンライン版
「モバイル空間統計®」を利用した人口変動分析の提供 人口マップの無料提供	「モバイル空間統計」を利用して、前年同月平均等と比較した主要エリアの人口変化を分析し、政府、自治体、メディア等に提供
	「モバイル空間統計」を利用して、外出先やお住いのエリアのリアルタイム人口分布を期間限定で無料提供
ドコモ地図ナビ「混雑度マップ」無料提供	混雑が一目でわかる地図機能「混雑度マップ」を期間限定で無料提供

新型コロナウイルスによる社会・経済情勢を踏まえた 新たな割引を提供

子育てサポート割引 を新たに提供

ひとり親世帯のお客さまを対象

- ・携帯電話のご利用料金を、毎月1,000円割引
- ・「5分通話無料オプション」を、無料でご利用可能に

「ハーティ割引」についても割引拡大



- ・携帯電話のご利用料金の割引額を、毎月1,000円拡大
- ・「5分通話無料オプション」を、無料でご利用可能に

「ドコモのロング学割」の提供

22歳まで毎月割引が継続

ギガホ

》5Gギガホ

- 22歳まで毎月1,000円割引
- さらに最大6か月間 月額 900円～
(5Gギガホは980円～)

ギガライト

》5Gギガライト

- 22歳まで毎月500円割引 & 2GB増量
- さらに最大6か月間 月額 980円～
(5Gギガライトも同額)

上期 決算サマリー

- ▶ 営業収益 2兆2,825億円、営業利益 5,636億円、減収増益。
- ▶ dポイントクラブ会員数 7,815万。中期目標7,800万を前倒しで達成。
- ▶ 金融・決済取扱高 3兆1,800億円。中期目標6兆円に対して好調に推移。
- ▶ 決済・ポイント利用可能箇所 266万。中期目標200万を前倒しで達成。
- ▶ 5G契約数・エリアともに順調に進捗。9月にはミリ波サービスを提供開始。
- ▶ 東日本大震災以降、災害対策へ1,000億円以上の投資を実施。
- ▶ 新たな割引として「子育てサポート割引」、「ドコモのロング学割」を提供。

**選ばれ続け
つながり続ける
強いICTサービスパートナーへ**

いつか、あたりまえになることを。

NTT
docomo

Appendix

セグメントに含まれる主なサービス等

通信事業

モバイル通信サービス

・5Gサービス ・LTE (Xi) サービス ・FOMAサービス ・国際サービス ・端末機器販売 等

光通信サービス及びその他の通信サービス

・光通信サービス ・衛星電話サービス 等

スマートライフ事業

コンテンツ・ライフスタイルサービス

・dTV ・dヒッツ ・dマガジン ・dショッピング ・dヘルスケア

・(株)NTTぷらら ・(株)オークローンマーケティング ・タワーレコード(株) 等

金融・決済サービス

・dカード ・dカードGOLD ・iD ・d払い ・Fintech 等

その他の事業

あんしん系サポート

・ケータイ補償サービス ・あんしん遠隔サポート 等

法人ソリューション

・法人IoT ・システム開発・販売・保守受託 等

ARPUの定義および算出方法

① ARPUの定義

ARPU (Average monthly Revenue Per Unit) : 1利用者当たり月間平均収入

1利用者当たり月間平均収入(ARPU)は、1利用者当たりの各サービスにおける平均的な月間営業収益を計るために用います。ARPUは通信サービス収入（一部除く）を、当該期間の稼働利用者数で割って算出されています。こうして得られたARPUは1利用者当たりの各月の平均的な利用状況及び当社による料金設定変更の影響を分析する上で有用な情報を提供するものであると考えています。

② ARPUの算定式

総合ARPU : モバイルARPU + ドコモ光ARPU

・モバイルARPU : モバイルARPU関連収入（基本使用料、通話料、通信料）÷稼働利用者数

・ドコモ光ARPU : ドコモ光ARPU関連収入(基本使用料、通話料)÷稼働利用者数

※割引適用額除きのARPUについては、関連収入より割引適用額を除外し算出

③ 稼働利用者数の算出方法

当該期間の各月稼働利用者数((前月末利用者数 + 当月末利用者数)÷2)の合計

④ 利用者数は、以下のとおり、契約の数を基本としつつ、一定の契約の数を除外して算定しています。

利用者数 = 契約数

- 通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」、「ドコモビジネストランシーバー」並びに仮想移動体通信事業者（MVNO）へ提供する卸電気通信役務及び事業者間接続に係る契約数
- 5G契約、Xi契約及びFOMA契約と同一名義のデータプラン契約数

なお、通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」、「ドコモビジネストランシーバー」、MVNOへ提供する卸電気通信役務及び事業者間接続に係る収入並びに「dポイント」等に係る収入影響等は、ARPUの算定上、収入に含めていません。

予想の前提条件その他の関連する事項

本資料に記載されている、将来に関する記述(業績予想を含む)を含む歴史的事実以外のすべての記述は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり将来実現しなかったりする可能性があります。また、その原因となる潜在的リスクや不確定要因はいずれも当社グループの事業、業績または財政状態に悪影響を及ぼす可能性があり、実際の業績等は様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。それらの潜在的リスクや不確定要因については、当社が公表している最新の有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。

本資料に記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。